

輸血センター

1. 概要

輸血センターは、輸血療法が安全かつ適切に実施されるように、院内の輸血療法に関すること全般を管理している。主な業務として検査業務と管理業務があり、検査業務は、輸血に関連する検査である血液型、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験などを実施している。管理業務には、濃厚赤血球液などの血液製剤の保管・管理、自己血採血の予約管理から貯血の管理およびアルブミン製剤の管理があげられる。その他に、輸血療法委員会の事務局を担当し、年6回の委員会を開催している。その内容は赤血球濃厚液（RCC）、新鮮凍結血漿（FFP）、アルブミン製剤（ALB）の使用量推移、輸血副作用集計報告、製剤廃棄率報告および製剤の大量使用例、交差適合試験未実施使用例の定例報告と、院内への周知事項や運用の問題点など、輸血療法が安全で適切に行われるよう協議している。また、本年5月より、大量出血時の希釈性凝固障害に対応するため、クリオプレシピテートの作製（1セット3パック）運用を開始し、3月までに22症例に対して27セットを使用した。

今後の予定として、平成26年度にはアルブミン製剤の一元管理体制を確立すること、血液幹細胞移植を支援するための体制を強化するために、名称を「輸血センター」から「輸血・細胞治療センター」と改称し、センター長に加えて副センター長を専任させる。

（センター長 杉浦 勇）

●検査件数 (件)

| 平成25年度 | 総数 |
|--------------|--------|
| 血液型 | 16,233 |
| 不規則抗体スクリーニング | 10,824 |
| 交差適合試験 | 6,058 |

●製剤使用状況 (単位)

| 平成25年度 | 総数 |
|--------|--------|
| 赤血球濃厚液 | 12,036 |
| 新鮮凍結血漿 | 3,527 |
| 濃厚血小板 | 25,680 |

●製剤廃棄率

| 平成25年度 | 製剤種 | 総数 |
|---------|--------|------|
| 廃棄率 (%) | 赤血球濃厚液 | 0.34 |
| | 新鮮凍結血漿 | 1.70 |
| | 濃厚血小板 | 0.29 |

●アルブミン製剤 (本)

| 平成25年度 | 本数 |
|----------|-------|
| 25%アルブミン | 1,823 |
| 5%アルブミン | 1,506 |

●副作用集計報告

| 平成25年度 | 副作用報告数(件) | 実患者数(人) |
|--------|-----------|---------|
| 赤血球濃厚液 | 69 | 54 |
| 新鮮凍結血漿 | 39 | 17 |
| 濃厚血小板 | 261 | 125 |